

NYマーケットレポート (2016年5月11日)

NY市場では、欧州市場の流れを受けて、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、欧米の株価下落が嫌気され、投資家がややリスク回避の動きを強めたことから、安全な通貨とされる円を買う動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、米国の石油在庫統計で原油在庫が予想に反して大きく減少したことを受けて原油価格が急反発となり、円売りが優勢となった。午後に入ると、米株価が下げ幅を拡大する動きとなり、終盤までドル円・クロス円は上値の重い動きが続いた。

2016年5月11日 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	108.61	109.37	108.55
EUR/JPY	123.68	124.40	123.60
GBP/JPY	156.67	158.01	156.54
AUD/JPY	79.78	80.66	79.75
EUR/USD	1.1389	1.1398	1.1369

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	108.80	108.53
EUR/JPY	124.00	123.63
GBP/JPY	157.06	156.42
AUD/JPY	80.17	79.72
EUR/USD	1.1406	1.1384

*L/D高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16579.01	+13.82
ハンセン指数	20055.29	-187.39
上海総合	2837.04	+4.45
韓国総合指数	1980.10	-2.40
豪ASX200	5372.29	+29.51
インドSENSEX指数	25597.02	-175.51
シンガポールST指数	2732.87	-8.28

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6162.49	+5.84
仏CAC40	4316.67	-21.54
独DAX	9975.32	-70.12
ST欧州600	334.74	-1.50
西IBX35指数	8663.90	-111.30
伊FTSE MIB指数	17698.08	-236.64
南ア 全株指数	52130.34	+255.08

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	108.45	108.84	108.38
EUR/JPY	123.89	124.29	123.84
GBP/JPY	156.61	157.33	156.52
AUD/JPY	80.00	80.34	79.80
NZD/JPY	74.02	74.31	73.81
EUR/USD	1.1426	1.1447	1.1399
AUD/USD	0.7377	0.7402	0.7355

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17711.12	-217.23
S&P500	2064.46	-19.93
NASDAQ	4760.69	-49.19
日経225 (CME)	16430	-350
トロント総合	13788.21	+13.02
ボルサ指数	45506.87	-169.54
ボベスパ指数	52764.46	-306.45

5/12 経済指標スケジュール

08:01	【英国】4月RICS住宅価格
08:50	【日本】日銀金融政策決定会合[4月27-28日分・主な意見]
08:50	【日本】3月経常収支・3月貿易収支
08:50	【日本】5月対内外証券投資
10:00	【オーストラリア】5月消費者インフレ期待
13:30	【日本】4月企業倒産件数
14:00	【日本】4月景気ウォッチャー調査
15:00	【ドイツ】4月卸売物価指数
15:00	【スウェーデン】4月PES失業率
15:45	【フランス】4月消費者物価指数
16:30	【スウェーデン】4月消費者物価指数
17:00	【ノルウェー】政策金利発表
18:00	【欧州】3月鉱工業生産
18:30	【南アフリカ】3月金生産量・3月鉱物生産量
20:00	【英国】政策金利発表
20:00	【英国】5月英中銀 四半期インフレ報告
20:00	【南アフリカ】3月製造業生産
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】4月輸入物価指数
21:30	【カナダ】3月新築住宅価格指数
21:30	【カナダ】4月住宅価格指数
22:00	【メキシコ】3月鉱工業生産・3月製造業生産

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1275.50	+10.70
NY 原油	46.23	+1.57
CME コーン	377.50	-3.50
CBOT 大豆	1078.25	-5.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.73%	0.72%
3年債	0.88%	0.86%
5年債	1.20%	1.20%
7年債	1.50%	1.51%
10年債	1.73%	1.75%
30年債	2.58%	2.60%

5/12 主要会議・講演・その他予定

・米30年債入札

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 108.73 ユーロ/円 123.93 ユーロ/ドル 1.1401

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6144.47	-12.18	ダウ 先物ミニ	17812	-41
仏 CAC40	4298.59	-39.62	S&P 500 ミニ	2074.25	-3.25
独 DAX	9962.25	-83.19	NASDAQ 100 ミニ	4384.75	-7.25

出所：SBILM

＜企業決算＞

米メーシーズ

第1四半期の調整後1株利益は0.40ドル（予想0.36ドル）

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17862.12	-66.23
ナスダック	4798.78	-11.10

出所：SBILM

23:00

＜ 経済指標の結果 ＞

4月英国 NIESR GDP 予想 0.3%（前回 0.4%）

前回発表の0.3%から0.4%に修正

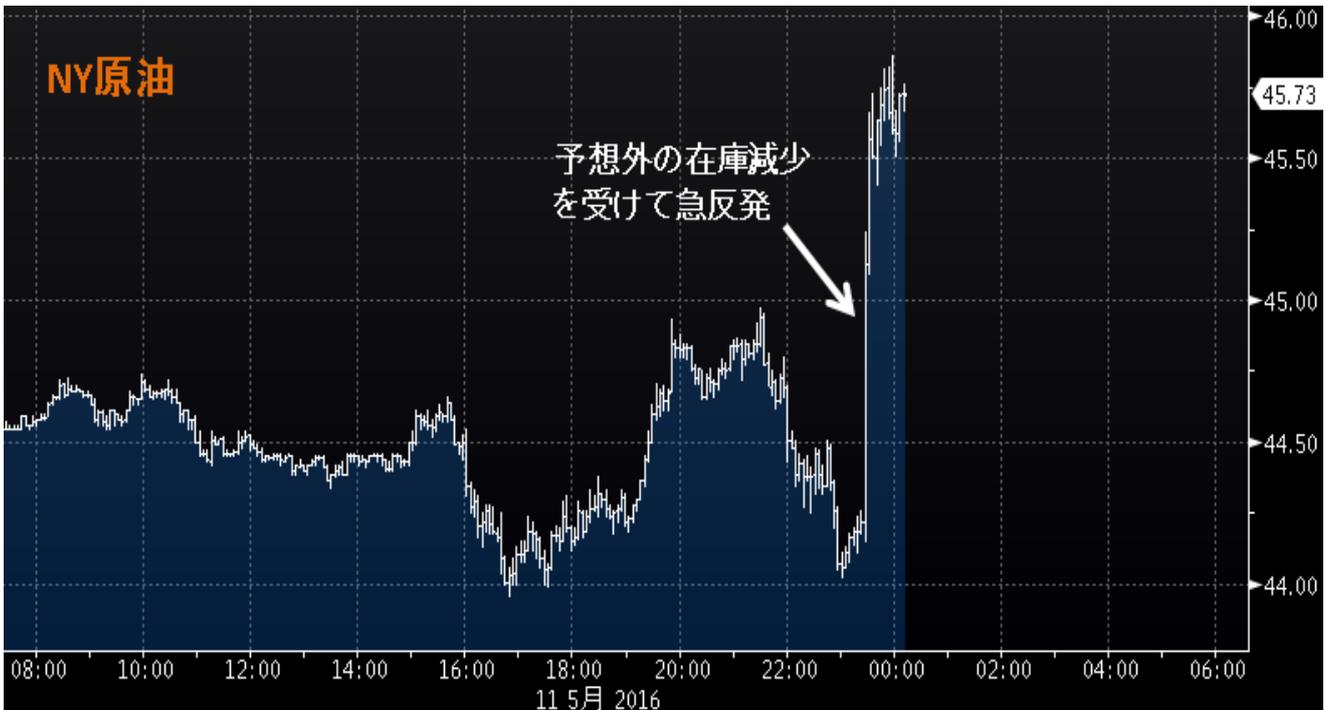


出所：Bloomberg

23 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・341万バレル減少
ガソリン在庫・・・123万バレル減少
留出油在庫・・・165万バレル減少



出所：Bloomberg

23 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、欧州主要株価の下落や、軟調な原油相場を背景に、主要株価は軟調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 117 ドル安まで下落する動きとなった。

◀ポイント▶

OECD（経済協力開発機構）が発表した 3 月の景気先行指数は 99.6 と前月の 99.7 から小幅低下した。ブラジルとロシアで見通しが改善し中国は安定するなど、新興市場国で景気減速が弱まりつつある。またユーロ圏で成長に安定の兆しが見られる一方、米国は一段と悪化した。OECD は声明で「景気先行指数は引き続き米国と英国の成長鈍化を示している。イタリアでは減速の見通しが確認された」と指摘した。

中国は横ばいの 98.3、ブラジルは前月の 98.0 から 98.3 に改善、ロシアも 98.4 から 98.6 へ上昇。米国は 98.8 で前月の 98.9 から悪化、英国は 99.1 で横ばいだが、なお成長鈍化を示している。ドイツは 99.7 で変わらず。フランスも 100.9 で横ばいだったが、イタリアは 100.8 から 100.7 へ低下した。ユーロ圏全体では 100.4 へ悪化した。

0 : 30

◀ 要人発言 ▶

黒田総裁～独ベルゼン紙

- ・「日銀は限界に達していない」
- ・「インフレは断じて正しい軌道にある」
- ・「マイナス金利、金融市場への影響は極めて明白」
- ・「強い円は日銀の政策がもたらした結果ではない」

- ・「金利の低下は弱い通貨につながる」
- ・「日銀の政策は円に関して外的要因に圧倒されている」
- ・「日銀は必要とあれば著しい金融緩和が可能」
- ・「テクニカルには ECB と同じ低金利は可能」

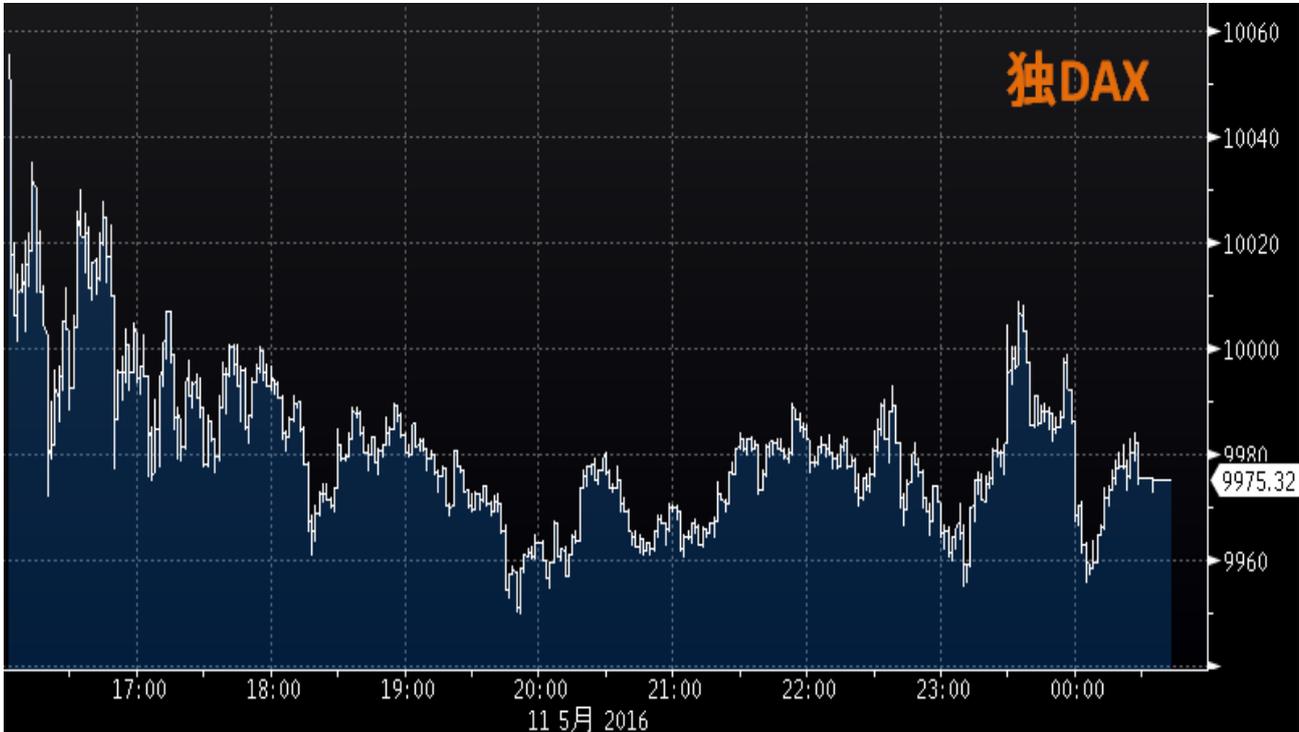
- ・「エネルギー価格上昇に伴い物価上昇率は目標の 2% 接近へ」
- ・「金融・財政政策の協調には限界がある」
- ・「すべての中銀が 2% の CPI 目標達成できると確信する」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6162.49	+5.84
仏 CAC40	4316.67	-21.54
独 DAX	9975.32	-70.12
ストック欧州 600 指数	334.74	-1.50
ユーロファースト 300 指数	1315.20	-5.94
スペイン IBEX35 指数	8663.90	-111.30
イタリア FTSE MIB 指数	17698.08	-236.64
南ア アフリカ全株指数	52130.34	+255.08

出所：SBILM

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 は、鉱業株を中心に買いが優勢となり、小幅高となった。ただ、独 DAX は、欧州企業の業績先行きへの警戒感が圧迫要因となった。



出所：Bloomberg

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17807.20 (-121.15)、S&P500 2076.08 (-8.31) ナスダック 4793.06 (-16.82)

＜NY債券市場・午前＞

序盤のニューヨーク債券市場は、主要な米経済指標の発表がなく手掛かり材料に乏しい上、10年物国債入札を前に様子見ムードも強まって積極的な取引が手控えられた。

午前の利回りは、30年債が2.60%（前日2.61%）、10年債が1.75%（1.75%）、7年債が1.52%（1.52%）、5年債が1.20%（1.20%）、3年債が0.88%（0.86%）、2年債が0.72%（0.72%）。

＜欧州のポイント＞

アイスランド中銀は、主要政策金利を5.75%に据え置くとともに、インフレ率は引き続き目標を下回るとの予想を明らかにした。4月のインフレ率は1.6%と、前年同期とほぼ同水準だった。中銀は声明で「この結果は、国内の物価上昇圧力が、通貨クローナの上昇や世界的な低インフレの影響に相殺されていることを示している」と述べ、「今年の国内インフレは目標を引き続き大幅に下回る見通しだが、輸入価格の下落が止まれば、インフレも拡大するだろう」とした。今年の経済成長率は4.5%と、前年の4.0%を上回る見通しだという。2017年については、2月の当初予想の3.4%から引き上げ、4.0%とした。

2 : 00

＜米財務省 10 年債入札＞

最高落札利回り・・・1.710%（前回 1.765%）
 最低落札利回り・・・1.600%（前回 1.651%）
 最高利回り落札比率・・・30.57%（前回 98.52%）
 応札倍率・・・2.68 倍（前回 2.75 倍）

3 : 45

NY 金は、中心限月が前日比 10.70 ドル高の 1 オンス＝1275.50 ドルで取引を終了した。

4 : 15

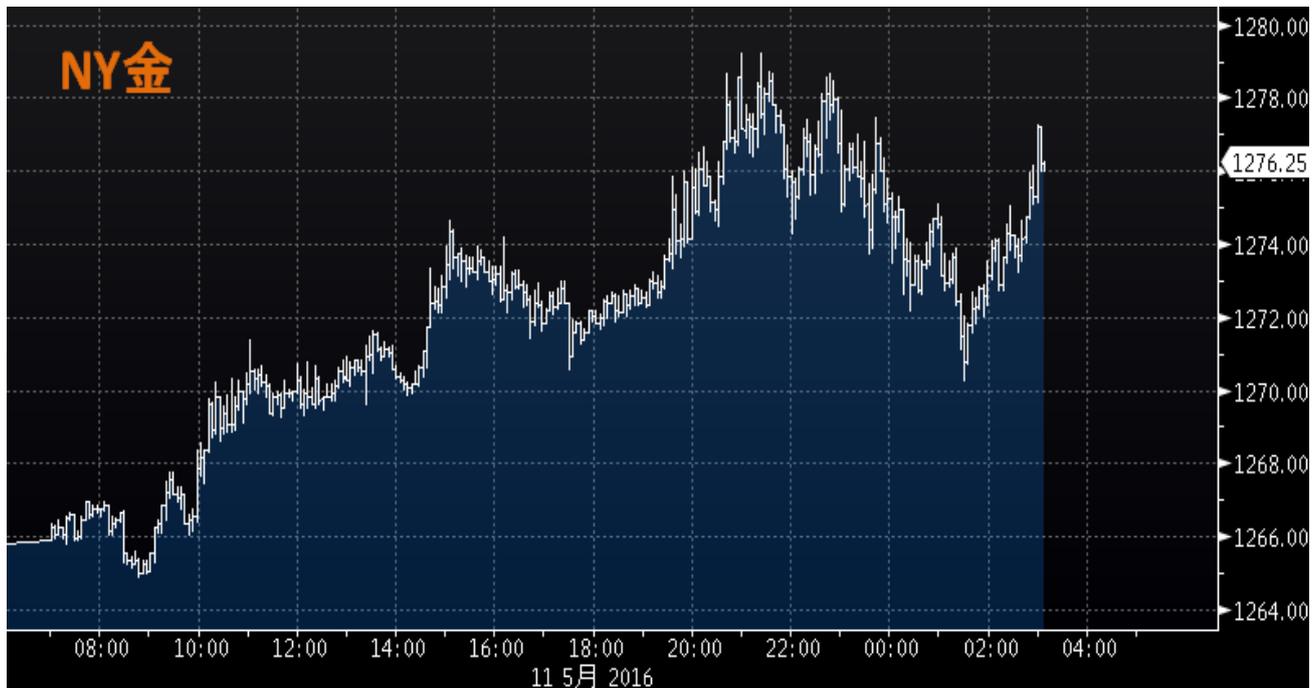
NY 原油は、中心限月が前日比 1.57 ドル高の 1 バレル＝46.23 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1275.50	+10.70
NY 原油	46.23	+1.57

出所：SBILM

＜ NY 金市場 ＞

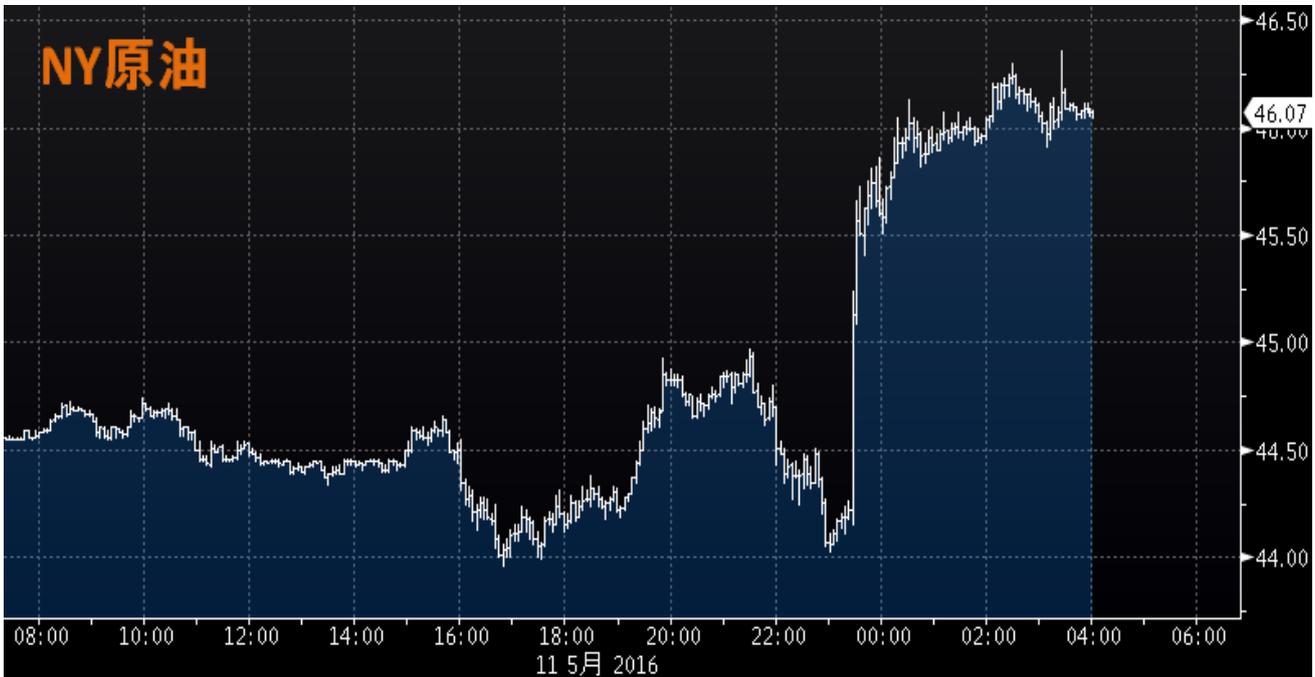
NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産とされる金の需要が高まった。米国株の大幅下落で金を逃避的に買う動きも広がり、相場を押し上げた。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、米石油統計で原油在庫が市場の予想に反して減少したことから、供給過剰への懸念が後退し、買いが優勢となった。また、カナダの大規模な山火事による原油生産減少のほか、ナイジェリアのパイプラインの油送停止が報道されたことも支援材料となった。



主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17711.12	-217.23	17919.03	17711.05
S&P500 種	2064.46	-19.93	2083.29	2064.46
ナスダック	4760.69	-49.19	4812.19	4760.36

出所：SBILM

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、欧州主要株価の下落や、軟調な原油相場を背景に、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。その後、原油価格の上昇で値を戻す場面もあったが、大手企業の決算内容が相次いで予想を下回ったことが嫌気され、主要株価は終盤まで軟調な動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、終盤に前日比で 217 ドル安まで下落する動きとなった。



出所：Bloomberg

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	108.45	108.84	108.38
EUR/JPY	123.89	124.29	123.84
GBP/JPY	156.61	157.33	156.52
AUD/JPY	80.00	80.34	79.80
NZD/JPY	74.02	74.31	73.81
EUR/USD	1.1426	1.1447	1.1399
AUD/USD	0.7377	0.7402	0.7355

出所：SBILM

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧州市場の流れを受けて、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、欧米の株価下落が意識され、反落となった。その後、原油在庫が予想に反して減少したことから、原油価格が反発、円売りが優勢となりドル円・クロス円も堅調な動きとなった。しかし、米株価が終盤まで軟調な動きとなったことから、ドル円・クロス円も上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

【今後のテクニカルポイント】

ドル/円のトップ&ボトムの13週サイクルは継続するか？



出所：総合分析チャート

ドル/円は、2014年12月から週足ベースでトップとボトムの13週サイクルが続いており、先週が前回から13週目に当たる。前回（2/8の週）がボトムであったことから、次はトップとなる可能性が考えられたが、前回のボトムである110.96（重要な下値サポート）を完全に下抜けたことから下げが加速し、今回のボトムとなる105.54まで下落する動きとなった。週が明けて反転したことで、ここが一旦のボトムであったことが確認できる。

この13週サイクルが継続する場合、次は7月25日の週が13週目となる。現時点では、次はトップとなる可能性が考えられ、その場合の上値目標は113.31～115.69（2015年6月高値125.85から直近安値105.54まで下げに対する38.2%戻し～50.0%戻し）と予測できる。

ただ、重要サポート（前回ボトム）となる105.54を下抜ける場合には、再びボトムとなる可能性も考えられ、その場合には100.12（前回、前々回の下げと同等の下げ）～100.76（2011年10月安値75.67から2015年6月高値125.85までの上昇の50.0%押し）が下値目標値となる。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。